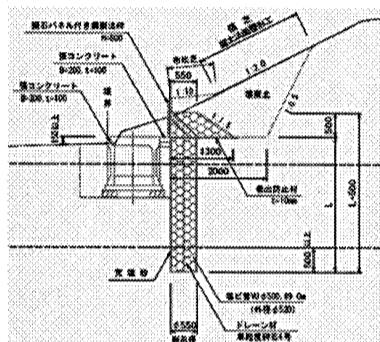


現場は奈良県から和歌山県に流れる一級河川紀の川の中城に位置します。その河川堤防の耐浸透の安全性を満足していな箇所において強化工事が各所で順次実施されています。その強化工事の一つ盤ふくれの対策工事としてウェルドレーン工法が採用されました。この工法の和歌山県での実績は二件目と少な

0.8を用いて砂礫層を確認しながら、規定深度までケーゼシング削孔、オーガー掘削して排土し、その孔内に塙ビ管（VUΦ500）を設置、ドレーン材（单粒度碎石）を投入、間詰め材（真砂）の充填を行い、その後ケーゼシングを引抜きながら間詰め材を更に充填し、完成。これを六六〇mの区間に四八箇所設置しました。弊社のウェルドレー



## 最前線レポート

発行所  
大洋基礎工業株  
たいよう新聞委員会

声援

三月二一日で東日本大震災から四年となり、全国各地で追悼行事が行われ、地震発生時刻の午後二時四六分に参列者が一斉に默とうをささげたとあります。政府主催の追悼式に出席された天皇閣下、年々高齢化していく被災者の健康や原発事故の影響で今でも帰宅できない多くの人を案じ、復興に向け国民皆が心を一つに寄り添う事が大切と話されました。陛下のお言葉通りこの四年間、被災地において人々が厳しい状況の中、お互いの絆を大切にしつつ、幾多の困難を乗り越え復興に向けて努力をしてきました。しかし依然として被災した人々を取り巻く状況は厳しく、これからも國民皆が心を一つにして寄り添っていいくことが大切と思います。

又、先月イギリスのチャールズ皇太子が日本に視察に来られた時、被災地を訪問され激励されたニュースを聞きました。外國の方々でさえ四年たつた今も心配して下さつていてる事に感謝で一杯です。我々も対岸の火事では無いのですが、薄れて来てるので思ひます。建設業を職域にしている我々も風化させないよう、もう一度思い直す必要だと思います。震災被災地の皆様には心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

か無事目標が達成できました。これも社員、協力会社の方の努力の賜物であると思い、感謝で一杯です。ですが残念な事に一部の部署で赤字となり、全部黒字化が目標でしたので、とても決まっていきます。名誉な期の完結も残念です。四九期は大阪支店主催で創立記念式典を行う事が決まります。名譽な期の完結工増に頑張って行きます。

それを成し遂げるためには受注あつてこそ完工・安全があるからと思うと情報収集が一番大事です。工事だから営業は関係ないと思わず、現場には色々な情報があると思います。現場が営業の最前線と営業・工事・協力会社三位一体で情報を共有して更なるコストを削減し、一層の品質の向上を目指して職員一同今後の受注に繋げていきます。

それとTRD工法・ヒロワーク工法・軽量盛土工事のような大型物件だけでなく、大阪支店者にとって非常に忙しい現場ではありましたがあつたが、皆様のお陰でスムーズに現場を工期内に仕上げることができました。

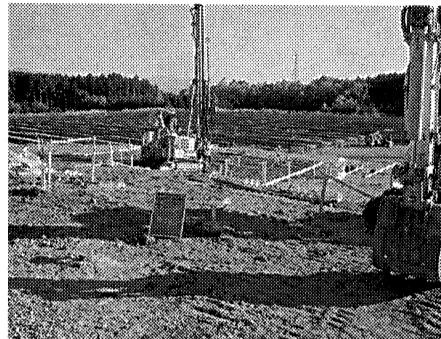
最後に、株式会社木村組様には細かな段取り等まで協力して頂きました。この工事を紹介して頂いた協力会社のサンワ基礎工業株式会社様、そして寒い中初めての工事にもかかわらず、安全作業で工期厳守して頂いた山洋基礎工

# 事業所だより

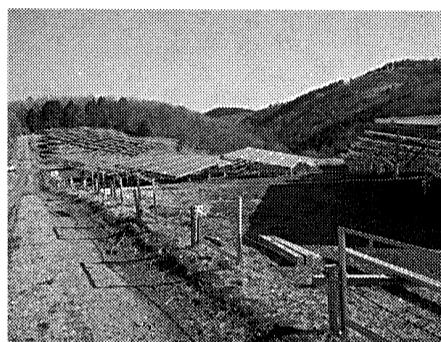
日々の業務お疲れ様です。厳しい冬も過ぎようとして、屋外での仕事を主戦場とする我々にとても嬉しい春の訪れとなります。さて私が所属する静岡支店開発部では、昨年長野支店より宮野係長、新入社員で麻植、山本部員を迎える総勢7名で運営しています。

昨年は消費税率の引上げに伴い駆込み需要の反動で住宅地盤改良の工事量が大幅に減少しましたが、他工種の受注は前期と比較して約30%増の受注でした。その中で私が担当した工事を幾つか紹介したいと思います。

一つは太陽光発電所の新設に伴う基礎杭工事で、規模は基礎杭1300本を超える物件です。



本来太陽光パネル設置場所は平坦な場所が多いのですが、今回の現場は山間部に位置し、且つ地主様の要望もあって現状の山肌を維持した状態での施工を求められ、現地は大きなコブやうねりが連続しており、場所によつては傾斜角30度を超える所もありました。敷設板や輪木による施工基盤の確保、重機の転倒等安全面の配慮は欠かせない現場でした。品質面では起伏のある施工基面では光波による測量で芯ズレの確認修正を行い次行程に引渡し、他風荷重による杭の引抜き荷重の試験に加え水平方向の変位量の確認が検査項目に追加され、苦労した現場でした。



他では近い将来発生が予測される東南海沖地震に備えて沿岸部ではインフラ整備や津波タワー等非難施設の建設が盛んに行われています。当社が係る物件では浜松市篠原地区の沿岸部で施工している防潮堤の築堤工事で、堤体幅員は約20m、施工延長は1000mの規模の工事です。

内海 四朗  
安全衛生環境部

- ①安全衛生活動の具体的な実施
- ②交通労働災害防止対策の徹底
- ③安全衛生教育の実施
- ④安全衛生活動の具体的な実施
- ⑤健康管理の実施
- ⑥資格者育成、取得の実施
- ⑦その他の

平成26年度も残り僅かですが、事故、災害の撲滅に努め、事に当る前に油断することなく多少の心の余裕と緊張感を持つ行動しましょう。

月末現在四三件の災害・事故報告(前年度平成26年3月末四八件)でほぼ前年並み、もしくはやや減少となっております。

## 不可抗力の場合もありますが、大半はヒューマンエラーによる

最後に従来の地盤改良工事に

加え工種の拡大を計り、目標達成と部員のレベルアップに努めています。

引き続きお願い致します。

最後に従来の地盤改良工事に加え工種の拡大を計り、目標達成と部員のレベルアップに努めています。

引き続きお願い致します。</